

彩の国いきいきフェスティバルに参加して

第六支部 石川 直哉

平成 25 年 11 月 4 日（月・祝）、埼玉県県民活動総合センターにおいて「彩の国いきいきフェスティバル」が開催されました。今年度から公益委員会と第六支部の合同で参加となりました。

このイベントは、NPO、ボランティア、高齢者団体などの日頃の活動成果の発表、交流の場を提供する催しで、館内は大勢の来場者で賑わいました。

今年の主な事業内容は、超音波骨密度測定、医療で用いる放射線検査のパネル掲示、被ばく相談、3Dワークステーションなどを用いて啓蒙活動を行いました。

骨密度測定は受付前に列ができるほど大盛況で、最終的には 163 人分の測定を実施致しました。163 人の内訳は男性 60 人女性 103 人となり、女性が全体 6 割を占め、関心の高さが実感できました。

またパネルの前で立ち止まる方もおり、検査の説明を求められることもありました。今回参加させていただいて分かったことは、患者様は必ずしも十分な検査説明をされた後に検査を受けているわけではないこと、また検査を受けるのに必要な費用を知る機会があまりなく、検査を受けることに不安を感じている方も多くいることが分かりました。

被ばく相談ブースでは、学校の給食に対する不安を抱いている方の相談がありました。例えば、食べ物や飲み物に混ざっている放射性物質により「内部被ばくを引き起こすのではないか?」「直ちに健康に影響があるのではないか?」「長期的に健康に影響が出る可能性があるか?」など。このような日々の食生活への不安も、工藤氏の説明により安心感を得て相談を終えていました。また被ばくの相談だけでなく、我々診療放射線技師の仕事はどのようなことをして、どのような学校に通えばよいのかなどの相談もありました。

今回、このような啓蒙活動を通して、いろいろなご意見を聞くことができ、自分自身とても勉強になり良い経験となりました。





実行委員

中村 正之	獨協医科大学越谷病院	石川 直哉	指扇病院
星野 弘	埼玉社会保険病院	小島 仁史	西大宮病院
工藤 安幸	東松山市立市民病院	松田 繁尚	丸山記念総合病院
志藤 正和	済生会川口総合病院	松本 明男	さいたま赤十字病院
澁市 直紀	埼玉医科大学国際医療センター	安川 紘平	指扇病院

平成 25 年度 第 12 回胸部認定講習会報告

学術委員会理事 佐々木 健

平成 25 年 12 月 1 日に、第 12 回胸部認定講習会が行われた。

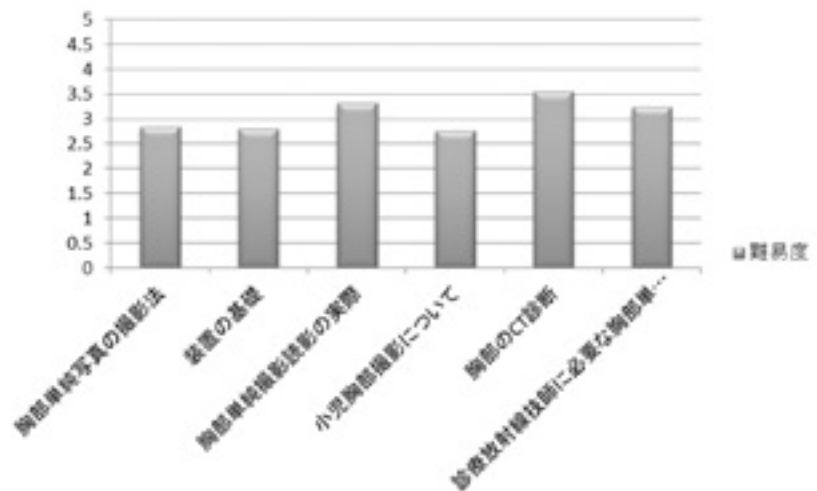
講習会参加人数は会員 23 人、非会員 5 人の 28 人であり、本講習会 2 回目以上の受講者も 15 人と、例年に比べ会員の受講割合、リピーター率が高く、胸部単純撮影の大切さを実感した。

内容と講師は以下の通り。

・胸部単純写真の撮影法	上尾中央総合病院	佐々木 健
・装置の基礎	株式会社島津製作所	武尾 和浩
・胸部単純撮影読影の実際	浦和医師会メディカルセンター	宮澤 浩治
・小児胸部撮影について	埼玉県立小児医療センター	横山 寛
・胸部の CT 診断	羽生総合病院	染野 智弘
・診療放射線技師に必要な胸部単純撮影の読影（初級編）	埼玉県立小児医療センター	田中 宏

受講後にアンケートを行い、読影に関しての 2 項目と CT について、難易度が高いと回答する受講者が多い結果になった。

胸部単純写真は読影が難しいが、基本でもあるため今後も少々高い難易度を維持し、分かりやすい講義となるようにしていきたいと考えている。



アンケートご意見欄には

- ・症例をもっと紹介してほしい
- ・症例をフィルムで見たい
- ・撮影の理論的な裏付けができた
- ・被ばくに関する内容

などの声があったため、今後はこれらの意見をもとに、受講者の満足度が高い講習会内容考えていきたいと思う。来年度も開催予定となっているので、興味のある方は奮ってご参加いただきたい。

なお、認定試験は平成 26 年 2 月 9 日（日）13:30～15:30。場所をさいたま赤十字病院に移して開催する。多くの認定者が出ることを望んでいる。

平成 25 年度 MRI 基礎講習会の開催報告

学術委員会 理事 栗田 幸喜

一昨年度は装置の性能評価を中心に講座を開催し、昨年度は磁気共鳴専門技術者認定試験問題から基本的な問題と安全に関する問題を抜粋しセミナーを行いました。今年度は同試験問題より出題頻度の高いパルスシーケンス、脂肪抑制、計算問題を中心に解説を含めて企画しました。

プログラム

13:00 ~ 13:20	基礎問題 I 模擬試験		
13:20 ~ 14:20	基礎問題 I 解説	済生会栗橋病院	渡邊 城大
14:30 ~ 14:50	基礎問題 II 模擬試験		
14:50 ~ 15:50	基礎問題 II 解説	済生会川口総合病院	浜野 洋平
16:00 ~ 16:20	計算問題模擬試験		
16:20 ~ 17:20	計算問題解説	埼玉医科大学病院	市川 隆史
17:20 ~	質疑応答		

11月17日(日)、さいたま赤十字病院の5F会議室にて、平成25年度MRI基礎講習会を行った。当初は講堂で行う予定であったが参加人数の関係から急遽開催場所が変更された。今回は過去に行われた磁気共鳴専門技術者認定試験問題(MR認定試験)から基本的な問題と計算に関する問題を抜粋し模擬を作成、解説を含めて“試験対策用とその基礎知識”を中心にセミナーを企画した。参加者は14人で、一つのセクションを各自20分で解答、その後約60分かけて関連事項含む解答と解説を行う予定であったが、解説に趣をおくため休憩時間中に問題を配布し早めに解説を開始した。基礎問題IはMR信号、パルスシーケンス、第8回MR認定試験問題から17問を私が担当し、基礎問題IIは脂肪とタンパク質、脂肪抑制、磁性の15問を済生会川口総合病院の浜野先生、計算問題として12問を埼玉医科大学附属病院の市川先生が担当した。基礎問題Iでは早めに解説を始めたにもかかわらず、予定時間を超え、最後に追加説明を行った。解答を決めなければならず正解を導くのに苦慮する部分もあったが、その辺りの難解な部分も含めて説明したつもりであり、試験対策としては上々であったと思われる。また埼玉のみでなく今回は近県の方々が多く参加していた。直前までこのような講習会があることを知らなかったという意見もあり、広報の仕方などを考えなくてはならないと思われる。資料は後日見直すことができるよう分かりやすく配慮し作成したが、一部修正した箇所があるので参加者にはメールで送信した内容を確認して訂正していただきたい。何問かは同様の問題が出題される範囲でありMR認定試験を受験される方は復習しておくことをお勧めする。今回および前回行なえなかった範囲(アーチファクトなど)の範囲もまだあるが、受講者の意見も考慮し、どこかの機会でも説明できたらと思う。

参加していただいた方、模範解答を考えていただいたSMCのメンバーの方、そして当日手伝いをしていただいた大森先生、結城先生に感謝致します(渡邊 城大)。